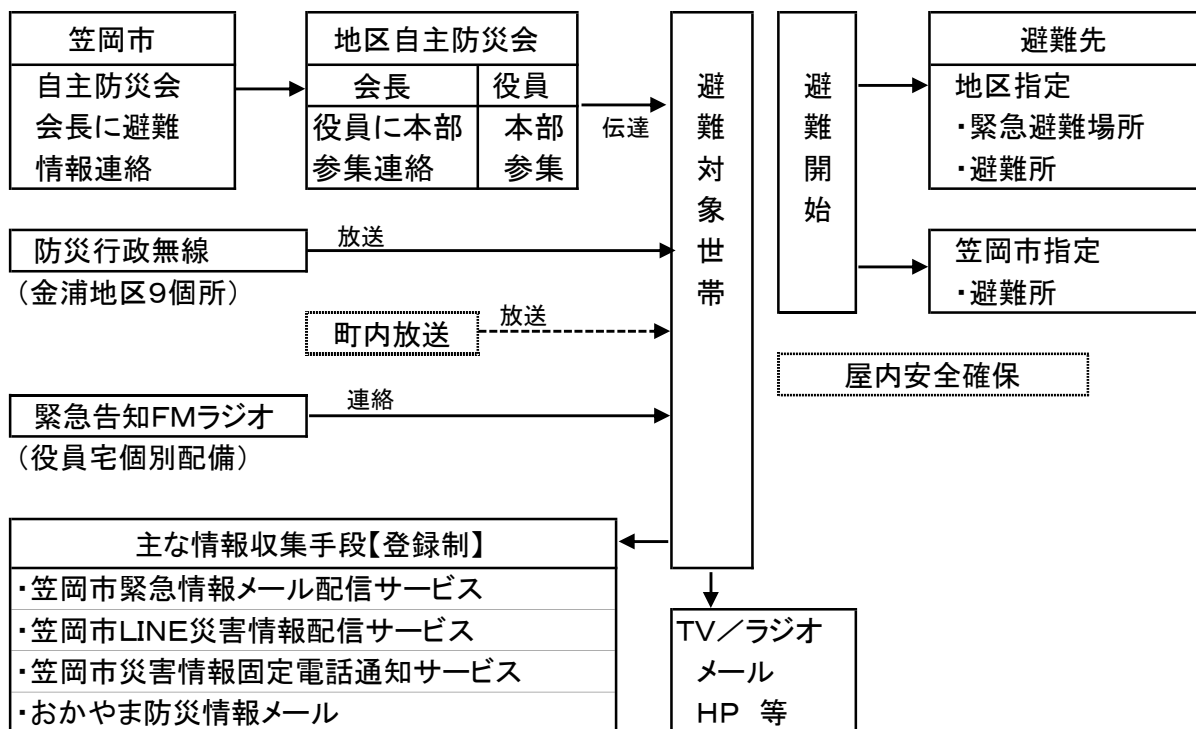


### 風水害時の避難行動(案)

平常時から、台風・豪雨時に備えてハザードマップと防災マップと一緒に、自らと家族で「避難行動」を確認、災害の危険が迫れば迷わず避難

#### 1. 災害情報と避難情報伝達の流れ




#### 2. 避難対象地域

浸水想定区域、土砂災害警戒区域、内水氾濫危険箇所、急傾斜地崩落危険箇所  
(各地区防災マップ、笠岡市総合ハザードマップで確認)

#### 3. 避難行動の種類

区分	避難先	避難行動の仕方
立退き避難 (水平避難)	・指定避難所 ・知人宅、親戚宅	その場を立ち退き、近隣の少しでも安全な場所に一時的に避難すること
屋内安全確保 (垂直避難)	・自宅の居場所	自宅の居場所や安全な場所に留まること
	・自宅の2階、高層階	切迫した状況において外への避難が危険なため、屋内2階以上に避難すること

### 3. 避難情報と住民に求められる行動

避難情報	避難が必要な住民に求められる行動	避難先	切迫性
自主避難	・笠岡市から避難指示が発令されていない場合でも、「自らの命は自ら守る」という心構えで身の危険を感じたら自主避難する。	・地区指定 緊急避難場所 避難所	低  高
高齢者等 避難 警戒レベル3	・高齢者、障がい者等の避難に時間が掛る人は、立ち退き避難する。 ・その他の人は準備するとともに、必要に応じ自主避難する。	・笠岡市指定 避難所  * 親戚、知人 宅等へ避難	
避難指示 警戒レベル4	・住民全員が立ち退き避難すること。 (※役員は地区災対本部に参集)	* 屋内で安全 確保	
緊急安全 確保※ 警戒レベル5	・既に避難開始している場合は、直ちに避難を完了する。 ・避難していない場合は、直ちに自らの命を守るための最善の行動をとる。 (屋内の2階以上、崖から離れた部屋等に逃げる等)		

※ 「緊急安全確保」は必ず発令される情報ではない。

### 4. 避難行動を事前にチェック

台風、豪雨に備えて、避難行動を「避難行動判定フロー」(別紙)で事前にチェック

### 5. 避難時に各家庭で心掛けること

高齢者等避難発令時、避難に時間が掛る人は避難開始、避難指示発令時は全員避難する。

(1) 指定避難所への避難が危険と判断する場合、避難に時間が掛る人がいる場合には、平常時から、次のとおり避難先を取り決めておく。

ア. 自宅が安全な場所なら「在宅避難」(2階以上、崖の傍から離れた部屋等)

イ. 安全な親戚・知人宅への避難も選択肢(日頃から家族や親戚・知人と相談)

### 6. 当日、心がけること

(1) 災害情報・避難情報を積極的に収集し、避難行動に活かす。

・風雨時には、防災無線は聞こえない

・緊急情報配信サービス(メール、LINE)、笠岡市・岡山県HP、ラジオ、TV等で情報収集

(2) 早めの避難を心がけるが、大雨がピーク時には避難を控える。

・道路が冠水し、危険であるため移動は控える。特に夜間の避難は控える。